

ラテンダブルス競技規程（5/9 中部ダンスフェスティバルin名古屋用）

* 東部総局のラテンダブルス競技規程をもとに今回用に変更してあります。

【1】基本ルール

- ① 2人1組のペアとする。
- ② 同性同士のペアとする。

【2】競技スタイル

*今回はどちらのスタイルも一緒に踊って頂きます。

ベーシック部門(シンクロ部門)とエキシビション部門の2部門を採用する。

①ベーシック部門(シンクロ部門)

- (1) チャチャチャ、サンバ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブの定められた5種目。
- (2) フィガーは THE LAIRD TECHNIQUE OF LATIN DANCING に記載のステップ、
または ISTD のテクニクブックの参照も可。
- (3) 2人が同じ振り付けを踊る事。
- (4) ペア同士の接触(入退場や転倒などによるサポートを覗く)は原則禁止とする。

②エキシビション部門

- (1) チャチャチャ、サンバ、ルンバ、パソドブレ、ジャイブの定められた5種目。
- (2) ベーシックフィガーを含むラテンアメリカンの範囲内においてどんなステップも使用可能。
- (3) 全体の半分以上は接触(手を繋いだり肩に手を置くなど)の無いシングルで踊るステップである事。
- (4) 相手を回転させる等の明らかなリード行為を用いた場合、同じステップを用い役割を入れ替えて行う事。
- (5) 以下の行為は原則禁止とする
 1. フロアに寝る
 2. フロアに3秒以上膝をつく
 3. 相手を持ち上げる(リフト)
 4. フロアに手をついたまま踊る
 5. 他の選手の危険になるような高いロンデ

【3】 競技カテゴリー

- アマチュア

【4】 服装規定

- ①衣装は原則としてデザインまたは色の統一でペアとして認識できるものを着用する事。
- ②シューズは社交ダンスのシューズを使用する事。

【5】 審査基準

- ①両部門ともフットワーク、ヒップムーブメント、ベーシックリズムの理解などのラテンアメリカンの審査基準に準ずる。
- ②審査基準の一つである同調性については以下の点において異なる。

ベーシック部門(シンクロ部門)

- ・タイミング、ダイレクション、アームワーク、顔の向き等が揃っているかを審査する。ベーシック部門においてはこの同調性が重要視される

エキシビション部門

- ・タイミング、ダイレクション、アームワークなどは審査対象だが、顔の向きについては同調性の審査対象とせず、アイコンタクトによるペアのコミュニケーションスキルを審査対象とする。

但し、いかに2人が同調していても基本的なリズムが外れていた場合は評価は落ちる。

【6】 採点方法

スケーティングシステムを採用する。

【7】 申し込み方法

事前にシラバスが告知され、そのシラバスに記載された申し込み方法に従う。